

絆きずな 20号

平成29年1月26日発行

発行責任者：吉竹一泰

文責：喜多川直子

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

ぼくは、どうしたらいいの・・・？ ぼくの話聞いて下さい。

ぼくは昨日、家族で出掛けるので放課後少し急いでいた。部活動が終わって、みんなより早く部室に着替えに行った。すると、〇〇くんが、もう部室にいた。『よっ』と〇〇くんにあいさつして、僕は着替え始めた。

しばらくして、着替え終わり部室を出ようとした僕に、〇〇くんが話しかけてきたんだ。『おい、お前食べないか？』

『えっ?!』 よくわからずに聞き返した。『これだよ』と言って、〇〇くんは、ハイチュウを差し出した。

『いりから、いりから、みんな食べてるからさ・・・先輩たちだって』と言って、僕の手をつかんで、手のひらにハイチュウを押しつけた。

『えっ?でも・・・』と僕は、〇〇くんにハイチュウを返そうとしたのだが・・・。

〇〇くんは、『いりから!おれも食べてるからさ。見つからなきゃいいんだよ!』

〇〇くんは、ぽいっと口にハイチュウを口にほりこみ、おいしそうに食べたんだ。

『でも・・・』と僕が言うと、『なんだよ、一人いい格好するのかよっ!』と怒り出した。

僕は、しかたなくハイチュウを口に入れた。〇〇くんは、『じゃあな』と手を挙げて部室を出ていってしまった。

後は、〇〇くんが落としていったハイチュウの包み紙が、落ちていた。僕は、その包み紙をすぐに拾った。

ぼんやりしていた・・・。そして、すぐに我に返った。『あっ、時間が、みんなが待ってる!』

ドキドキしていた。学校でおやつ?・・・みんなも食べてる?・・・

その次の日・・・。学年集会があった。内容は、最近、学校の中でアメやガム、マンガやCDなど持ってきて食べたり、交換したりしている人がいるということだった。

先生は、『君たちの心に聞かしている。もし、やってはいけないことなのにアメ、ガムを食べたり、不要物を持ってきたりしていた人は、逃げたり、あいまいにしたりせず正直に、自分で言いに来てください。先生たちは、君たちに本当に正しいことを正しい、間違っていることを間違っていると言える人になってほしいのです。そして、もし、友達の誰かがそんなことをしていたら早く止めてあげてほしいのです。そんな集団になってほしいのです。止めてあげられるのが、本当の友達です。』と言った。先生が言うことは、僕の胸にしみた。

僕が食べたことを言えば、〇〇くんのこと話さなければならない。

僕は、どうしたらいい? いいか、悪いか・・・そんなことは、頭でわかっていたはずなのに・・・。

【感想より】

1年生

- ・〇〇くんはどうしてそんなことをしてしまったのかが気になります。学校はみんなが勉強する場所だし、ハイチュウとかは関係ないものだと思います。「僕」は〇〇くんにも怒られても食べずに、きっぱりと断れたらよかったのかなぁと思います。そして止められたら、先生が言うように本当の友達なのかなぁと思いました。
- ・僕だったらたぶん言わない、いや言えないと思います。僕が言ったら、〇〇くんも先輩も言わなくなって僕の居場所がなくなると思います。自分がダメだと感じていても、友達に怒られたら食べてしまうと思う。でもそれをずっと続けるのはダメだと思う。一回ダメなことをしたら、それを続けてはいけなし、友達にもダメだと伝えられたらいいと思う。
- ・まず学校に必要な食べ物などの不要物を持ってくるということがダメだと思います。そして、不要物を持ってきた人と交換したりしていることも間違いだと思います。だから、不要物を持ってきた人に注意をして、これからは持ってこないという約束をしてほしいなと思いました。また、自分がしたことはちゃんと責任を持つことが大切だと思いました。



- ・僕がもしこのようなことがあったら、自分から正直に言えないと思います。理由はもし言ってしまったら、〇〇くんのことまで話してしまうので、後から何か言われるかもしれないからです。しかし、自分が行ったことに変わりはないので正直に言いに行ける正しい心にしていきたいと思います。
- ・自分はダメだと分かっていたのに、相手にすすめられてそれを断れず、つい受け入れてしまうことはダメだと思います。学年集会で先生が言っていたように「正しいことを正しい、間違っていることを間違っている」と言える人になりたいと思います。どれだけすすめられてもダメなことはダメだと判断できる人になりたいと思いました。

2年生

- ・自分が食べてしまったことも友達のこと、正直に話さなければいけないと思います。正直に話した後、もう同じことを繰り返さないようにしていくことが大切だと思います。また、みんなが食べているから自分もいいということにはならないので、周りに流されないようにしていくことが大切だと思います。
- ・正直に先生に話したらいいと思います。それでもしその子が友達でなくなったのなら、本当の友達とは言えないと思います。
- ・私も、みんながしているからいいやと今まで思っていた部分がよくありました。でもダメなことをみんなでするのはダメです。この文章に書いてあるように、注意できる人になりたいです。
- ・「僕」は先生に言うべきだと思います。〇〇くんを止められるチャンスだと思って正直に言えば、「僕」の心の中もスッキリすると思います。言った後、少し気まずくなってしまいうけれど、そこを乗り越えられれば本当の友達になれると思いました。
- ・〇〇くんのことを話すのは勇気がいるかもしれないけれど、悪いことは正直に言わなければいけないと思います。私も悪いことをしたときがありました。でも言う勇気がなくてなかなか言えませんでした。かくすとこんなに辛いんだなと分かりました。だから素直になることは大切だと思います。そして、みんながやっているからではなく、自分は自分と思うことも大切だと思います。

3年生

- ・不要な物を持ってきてはいけないと分かっているのに、友達に強制的に食べさせられたり、すすめられたりして食べてしまう人もいるのだと改めて感じました。一番の対策方法は、自分で強い意志を持って断るとのことだけれど、自分に断る勇気がないという人はまず友人関係から立て直していくことが大切だと思います。ぼくも良い友人関係の中で、正しいと思う行動、言動をしていきたいです。
- ・何が正しくて、何が悪いか頭で分かっているのに、なかなか言葉にするのは難しいと思います。でも、正しいことをちゃんと言うことで反省もできるし、自分の心のもやもやも消えると思います。
- ・もし、自分の友達がダメなことをしていたら、本当にそういうことが起きたら、止めてあげることができるか分かりません。しかし、止めてあげることが、自分のためにも相手のためにもなると思います。この文にも書いてあるように、それが本当の友達だと思います。私も、もし身近にそういうことが起きたら、止めることができるようにしたいです。
- ・もし私がこの「ぼく」の立場だとしても、この「ぼく」と同じように、どうすればいいのかわかりません。でもどちらが正しいことなのかは分かっています。でも言ってしまうと友達にきられられたり、自分も悪者になるので、言うことはとても難しく、勇気がいることです。でも言わなかったら絶対に後悔をします。だから自分のためにも友達ののためにも勇気を出して言った方がよいと私は思います。
- ・自分なら黙ってしまうと思った。理由は自主的に食べたのではなく、ほとんど強制だったということと、食べた後かなり反省していて「おかしを学校で食べるのはいけない」と分かっているから。先生は悪いことだと分かっている人に向けて言ったのではないかと感じた。

良くないことだと分かっているのに、「みんなもやっているから・・・」「自分だけじゃないから・・・」という考えがよぎったり、周りの雰囲気流されてしまって、自分の気持ちがゆらいでしまうことは誰にでもあることです。「すすめられても断る勇気を持とう」とか「強い意志を持てばよい」と簡単に言ってしまうのですが、いざその状況に自分が置かれるとなかなかできることではないと感じます。しかし自分に正直でいることが何よりも大切ではないでしょうか。黙ったままでいたり、嘘をついて平気でいられるような人間ではありたくない。正直で素直な今田中学生であってほしいと強く願います。



